



夢と希望を現実に みんなで創る 誇れる小山

## 第2次小山市長期ビジョン 概要版

平成26年3月 小山市



## ごあいさつ

私たちの「ふるさと」小山市は、栃木県南部に位置し、ラムサール条約湿地登録の渡良瀬遊水地や思川など「水と緑と大地」の豊かな自然と、古代から連綿と続く誇れる歴史を有しています。

特に徳川幕府300年を決定づけたと言われる天下分け目の軍議「小山評定」の開かれた「開運のまち」であると共に、ユネスコ無形文化遺産の本場結城紬などは、世界に誇れる伝統文化です。また、東京圏からわずか約60kmの新幹線が停車する、鉄道・国道ともに交差する便利な立地の交通の要衝で、北関東の拠点都市として、今後も大きく発展する可能性を持つ県内人口第2の都市です。

我が国においては、東日本大震災及び原子力発電所事故や甚大な自然災害が発生するなど、改めて安全で安心して暮らせるまちづくりへの意識が高まっています。さらに、全国的な少子高齢・人口減少社会の中、日本経済再生に向けた地域経済の活性化など、社会の仕組みも大きく変わるうとしている中、小山市におきましても、これからも子どもから高齢者まで、市民みんなが夢を実現でき、いきいきと真の豊かさを実感できる都市を築き上げていく必要があると考えています。

この「第2次小山市長期ビジョン」は、平成42年(2030年)を展望年次として、市の政策展開の長期的方向性を示すもので、『夢と希望を現実に みんなで創る 誇れる小山』をキャッチフレーズに、「ひと・行政を創る」「まちを創る」「暮らしを創る」の3つを基本理念として、7つの基本目標を掲げ、2030年の小山市のあるべき姿を「21の未来のすがた」にとりまとめたものです。

私は、本市の持つ大きな発展の可能性を最大限に発揮するため、豊かで貴重な地域特性や資源を活かしながら次世代に継承するとともに、市民一人ひとりが輝き、健康でいきいきと暮らせる、「夢」や「希望」溢れる小山の未来創造に向けた取り組みを進めていく所存です。

何よりここに、市民の皆様との協働により、未来に誇れる素晴らしい「ふるさと小山」の創造を実現できよう、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げる次第です。

最後に、計画立案に際して貴重なご意見、ご提案をいただきました行政政策小山評定懇談会委員各位や市民討議会の方々をはじめ、ご協力いただいた多くの市民の皆様には、心から感謝とお礼を申し上げます。

平成26年3月  
小山市長  
大久保 寿夫





## 目次

### 1 策定にあたって

1-1	策定の目的	4
1-2	策定の体制	4
1-3	策定の位置づけと展望年次	5
1-4	策定の基本的考え方	6

### 2 小山のすがた そして未来創造へ

2-1	小山の活かすべき財産	7
2-2	社会情勢の変化と時代潮流	8
2-3	未来創造への視点	9

### 3 第2次小山市長期ビジョン

3-1	基本姿勢	11
3-2	7つの基本目標と21の未来のすがた	14
3-3	未来スケッチ2030	16

I	未来スケッチ全体イメージ	18
---	--------------	----

II	目標別未来スケッチ	20
----	-----------	----

7 つ の 基 本 目 標	1	市民参加と行政改革で拠点都市実現	20
	2	次世代を育み みんながまちの魅力実感	24
	3	一人ひとりが輝く 教育・文化・スポーツの推進	28
	4	便利な生活基盤とまちの活力化	32
	5	小山の宝 自然・歴史・伝統の活用	36
	6	ひとや環境にやさしい都市創り	40
	7	安全・安心で健康な生活とコミュニティの活性化	44

# 1 策定にあたって

## 1-1 策定の目的

本市では、2020年（平成32年）を展望して、今後の小山市の進むべき方向とその実現に必要な施策展開の基本姿勢等を明らかにした「小山市長期ビジョン」を2004年（平成16年）3月に策定しました。

長期ビジョンでは、『明日を拓き 伸びゆく小山 ほんもの主義』を基本姿勢として、「7つの理念」と「21の未来のすがた」を体系的に整理し、「未来スケッチ21」という形で表現した計画づくりを行いました。

そして、長期ビジョンを踏まえながら、市政運営の指針となる「第5次小山市総合計画」を2006年（平成18年）3月に、「第6次小山市総合計画」を2011年（平成23年）3月に策定し、「夢 大地 きらめき 笑顔 みんなでつくる ふるさと小山」を将来都市像として、各種施策事業を総合的かつ計画的に進めています。

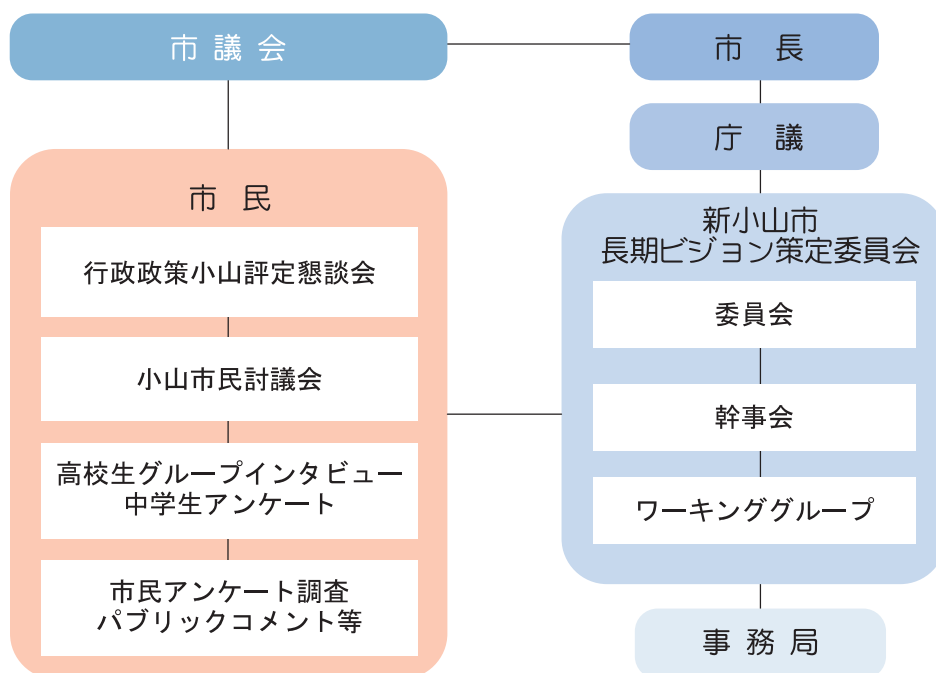
しかしながら、「小山市長期ビジョン」の策定から10年が経過し、全国的な少子高齢社会・人口減少社会の到来など、社会経済情勢が大きく変化しています。

このため、この間の施策事業の取り組みや、本市を取り巻く時代潮流及び将来の課題となる事項などを踏まえて、次の2030年（平成42年）を展望し、「第2次小山市長期ビジョン」の策定を行いました。

## 1-2 策定の体制

長期ビジョン策定にあたっては、「新小山市長期ビジョン策定委員会」を設置するとともに、有識者等からなる「行政政策小山評定懇談会」、「小山市民討議会」、「グループインタビュー」、「アンケート調査等より市民の意見や意向を把握し、その反映を図りました。

### ■ 策定体制図



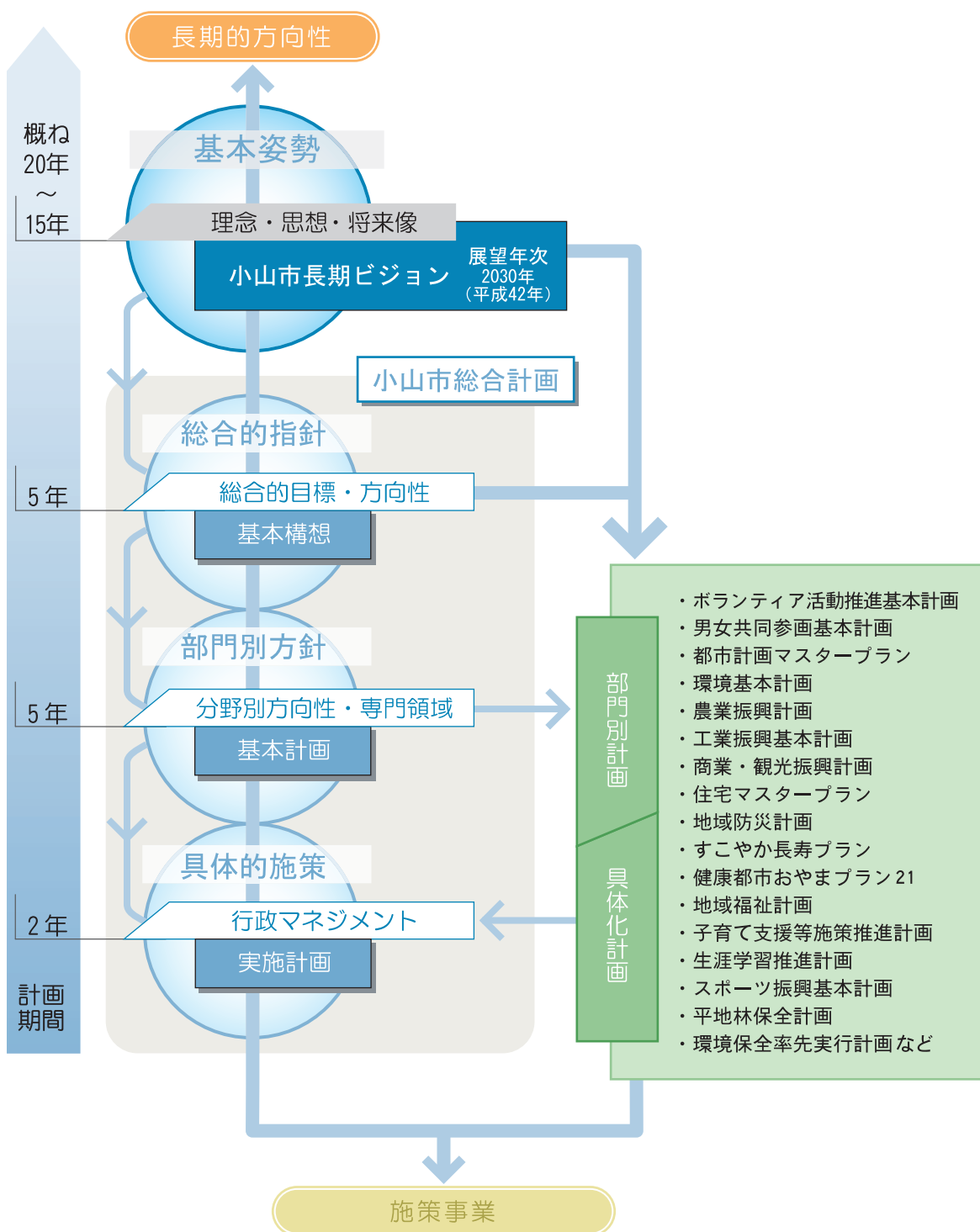


1-3 策定の位置づけと展望年次

小山市長期ビジョンは、市の政策展開の長期的方向性を示すものであり、本市の市政運営の基礎となる「理念・思想・将来像（リーディングコンセプト）」を定めたものです。

長期ビジョンの展望年次は、【2030年（平成42年）】とします。また、社会経済情勢の変化などを踏まえて、必要に応じて概ね10年後に見直しを行います。

■ 小山市長期ビジョンの位置づけ

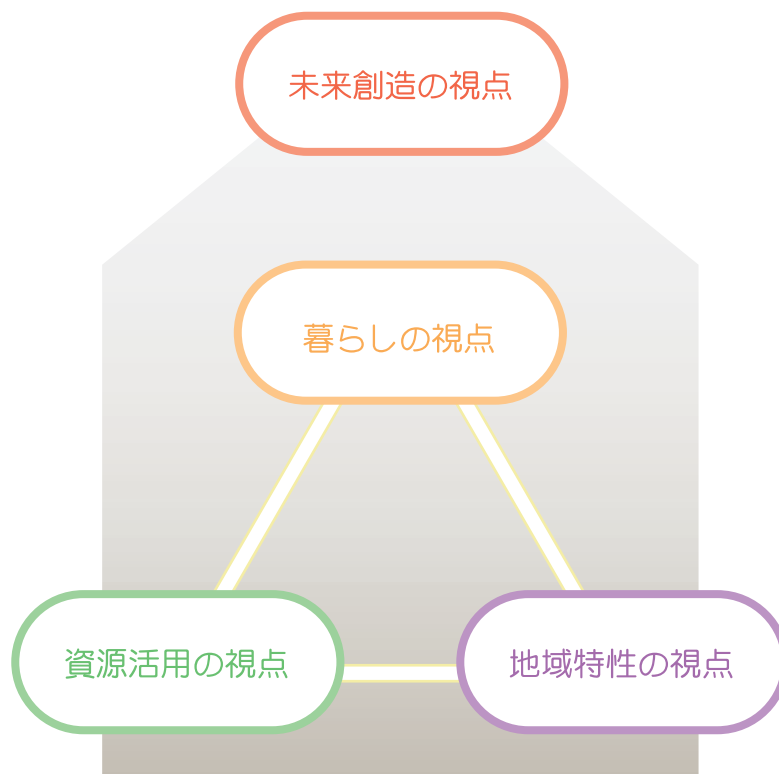
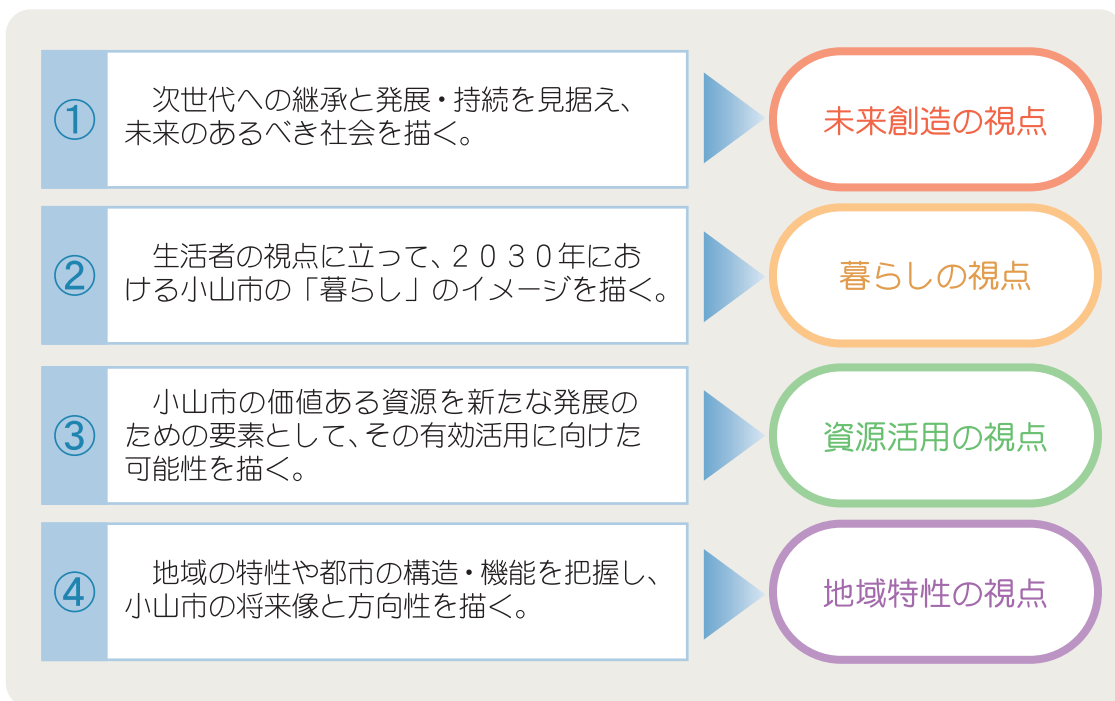




## 1 - 5 策定の基本的考え方

ビジョンの策定にあたっては、以下の基本的な考え方と視点に基づき、策定作業を進めました。

### ■ 策定にあたっての基本的な考え方・視点





## 2-1 小山の活かすべき財産

小山の特徴・個性であり、これからも大切にしながら、次世代に引き継いで活かすべき小山の財産は以下の通りです。【詳細は資料編参照】



■ 渡良瀬遊水地  
(ラムサール条約湿地登録)



■ 思川



■ 城山公園 (祇園城跡)



■ 小山評定跡



■ JR小山駅・東北新幹線

1) 渡良瀬遊水地・思川など  
「豊かな水と緑と大地」

2) 小山評定・開運のまちなど  
誇れる歴史・文化

3) 東京圏60kmアクセス  
利便性の高い交通要衝地

4) 本場結城紬など  
多くの「おやまブランド」

5) おやまサマーフェスティバルなど  
個性あるイベント・祭り

6) 農工商の調和のとれた  
産業都市・産学官の連携

7) 発展の可能性のある  
北関東の拠点都市

8) 新市民病院など安心して暮らせる  
生きがい・長寿・健康都市

9) スポーツやハンドベルなど  
教育・文化都市

10) 都市基盤整備が進む住宅地と  
魅力ある都心形成

11) とともに生きる男女共同参画・  
平和宣言都市

12) みんなで支え合う  
ボランティア・市民活動都市



■ 新4号国道



■ 本場結城紬  
(ユネスコ無形文化遺産登録)



■ 小山の花火



■ JR小山駅新東口



■ スポーツ



■ 新市民病院イメージ



■ 道の駅「思川」



我が国を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しており、こうした時代潮流に的確に対応したまちづくりを進める必要があります。【詳細は資料編参照】

### 1 少子高齢社会・人口減少社会の到来

- 安心して子どもを産み育てられる、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりへ

### 2 安全・安心への意識の高まり・質の高い生活基盤の形成

- 安全で安心して暮らせる質の高い生活基盤、地域のコミュニティづくりへ

### 3 経済情勢と産業構造の変化・グローバル化の進展

- 新たな産業の創出と地域活性化、ワーク・ライフ・バランス、活力ある社会形成へ

### 4 地方分権型社会・安定自立性の高い行財政運営の進展

- 行財政改革の推進、安定・自立性の高い都市経営、広域的な連携・交流都市へ

### 5 環境問題への対応と持続可能な社会の構築

- 環境と共生した循環型社会の形成、環境負荷の少ない低炭素社会への転換へ

### 6 市民協働のまちづくりの進展

- NPOやボランティア、市民参加・協働のまちづくりや住民自治活動の推進へ

### 7 価値観やライフスタイルの多様化・個性の尊重

- 多様な価値観・ライフスタイルを選択できる、真の豊かさを実感できる暮らしへ

### 8 高度情報ネットワーク社会の進展

- 誰もが必要な情報を活用できるユビキタスネットワーク、ICTの高度化対応へ

#### ※ワーク・ライフ・バランス：

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができる状態をいう。

#### ※ユビキタスネットワーク：

「いつでも、どこでも、何でも、誰でもアクセス可能な」情報通信ネットワーク。

#### ※ICT：

情報通信技術を表す言葉。日本ではIT（Information Technology）が同義で使われているが、国際的には、ITに「Communication（コミュニケーション）」を加えたICTの方が定着している。

## 2-3 未来創造への視点

小山の活かすべき財産や社会情勢の変化と時代潮流を踏まえ、市民アンケート調査、市民討議会、高校生グループインタビュー、中学生アンケート調査結果等から導かれた検討課題を「未来への視点」として10のキーワードに整理しました。

## 「未来への視点」キーワード

## 1 安全・安心

みんなが安全で安心して暮らせるまちが一層求められており、減災の観点から災害に強いまちづくりへの取り組みとともに、快適な生活を支える基盤整備が求められています。

また、子どもを狙った犯罪への対応や、高齢者の見守り活動など、家族や地域、行政が一体となった防犯対策に取り組む必要があります。

## 2 暮らしの利便性

暮らしの利便性の向上を図るためには、更なる公共交通・道路網や公園等の生活基盤整備、中心市街地の活性化など商業・交流機能の充実とともに、高齢者等が歩いて暮らせるバリアフリーのまちづくりや高度情報ネットワークを活用した取り組みも重要です。

また、街なかでの機能集約と高度化を図るとともに、豊かな田園環境を保全しながら効率的に生活環境を向上させるコンパクトシティの考え方が求められています。

## 3 次世代育成

少子化対策や高齢者福祉対策に取り組むとともに、子どもを生み育てやすい環境や学習教育環境の整備など、未来を担う次世代育成の充実と子ども自身が未来に向かって豊かに育つ環境づくりが求められています。

また、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画社会の推進により、男女が共に生きる喜びや幸せを実感できる社会を構築する必要があります。

## 4 健康・元気

誰もが健康で元気にいきいきと暮らせることを望んでおり、健康づくりの機会充実や医療・福祉・介護の環境整備が重要です。

また、子どもから高齢者、障がい者まで、一人ひとりが、楽しく活力ある生活を営む上で、生涯学習や芸術文化、スポーツ、ボランティア活動の実践・交流機会の場を設けるなど、生きがいづくりの充実が求められています。

## ※コンパクトシティ：

出来るだけ、都市的土地利用の郊外への拡散を抑制すると同時に、中心市街地の高度化と活性化を図ることで、生活活動に必要な諸機能が近接しつつ効率的な都市経営が実現した持続可能な都市づくりの考え方。



## 5 創造・創出

未来に「夢」や「希望」があふれるまちを実現するためには、小山市の地域の特性や立地利便性などの潜在的成長力を活かした、定住人口の増加や企業誘致、新たな産業づくりなどの創造・創出に取り組む必要があります。

## 6 水と緑と大地

渡良瀬遊水地や思川、農地、平地林など、豊かな「水と緑と大地」の自然環境を保全し、次世代に継承していくためには、都市と田園が調和した環境共生のまちづくりが求められています。

また、地球環境の負荷低減に向けては、再生可能エネルギーの活用や低炭素社会の実現など循環型社会の構築に取り組む必要があります。

## 7 歴史・地域資源

交流人口の増加を図るためには、小山評定や本場結城紬、渡良瀬遊水地などの、誇れる歴史・伝統文化・地域資源を広く情報発信・PRすることが重要です。

また、更に市民がふるさと小山に自信と誇りを持つためには、歴史・地域資源を活かした個性と魅力あるまちづくりを進める必要があります。

## 8 協働

市民本位のまちづくりを進めるためには、人と人とのつながりや絆を深め、共に支え合う地域コミュニティの強化と、市民が市政へ積極的に参画するしくみを構築する必要があります。

また、市民と企業と行政が役割分担を明確にし、相互に連携・協力しあう協働（パートナーシップ）や、民間活力を活かしたまちづくりが求められています。

## 9 成熟・持続性

少子高齢社会、人口減少社会を迎え、右肩上がりの高度成長から、緩やかな成長へ、精神的な豊かさや生活の質の向上を重視する成熟社会への移行が求められる中、安定した持続発展可能な都市を形成するための取り組みを進める必要があります。

## 10 行政マネジメント

安定的で自立した行政運営を行うためには、行財政改革と財政健全化の推進とともに、行政サービス充実や施策事業の選択と集中に取り組み、公共施設や道路・上下水道などのインフラの適切な維持管理や長寿命化などストックの活用を図る必要があります。

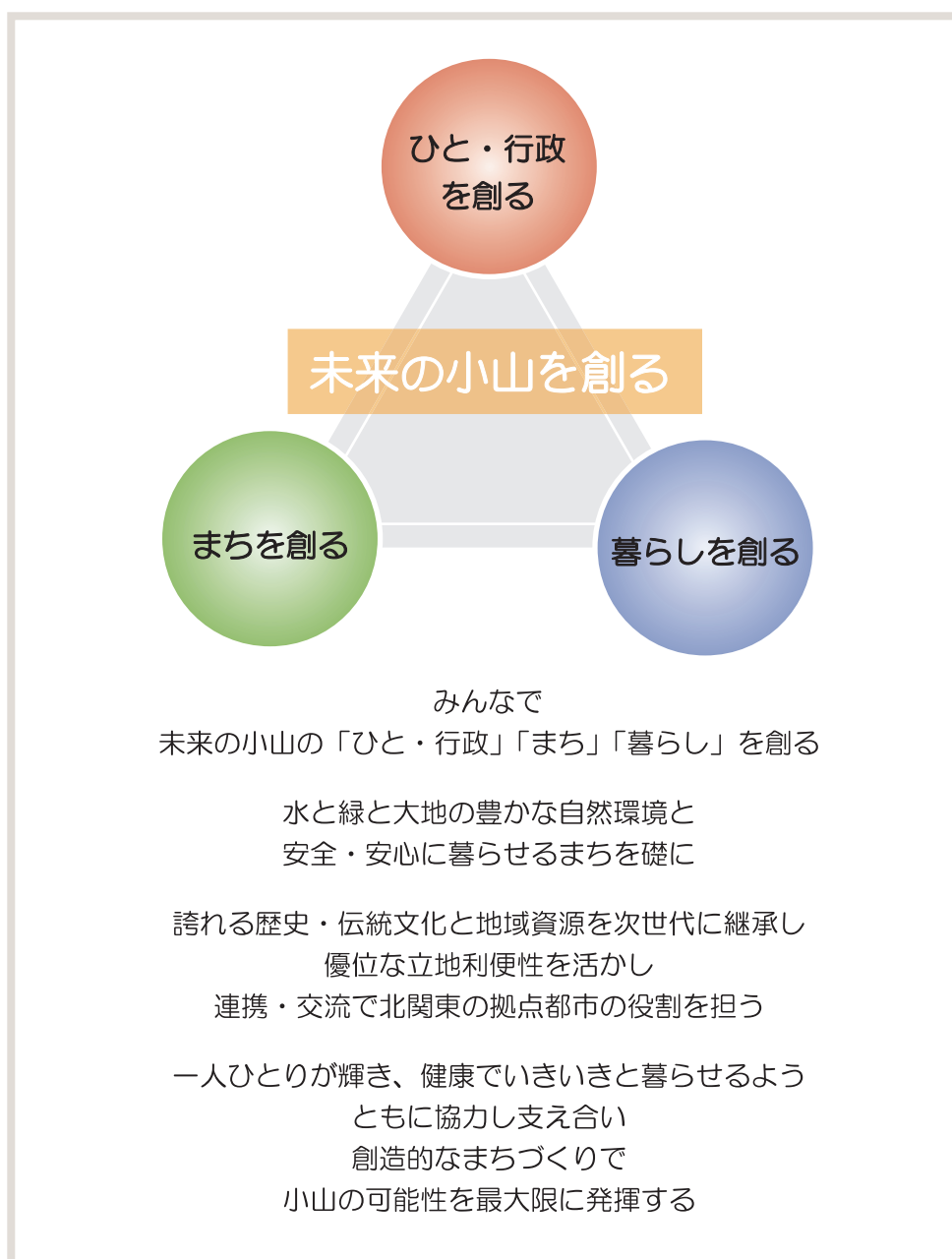
また、拠点都市として、都市間の連携による広域的な課題解決に取り組む必要があります。

## 3 第2次小山市長期ビジョン

### 3-1 基本姿勢

2030年の「小山市のあるべき姿」を実現するため、長期ビジョンの基本姿勢は、「ひと・行政を創る」「まちを創る」「暮らしを創る」の3つの創るを前提に、小山の地域特性や資源を活かし、次世代に継承するとともに、「夢」や「希望」溢れる小山の未来創造に向け、市民と共にいきいきと輝く小山を創っていく考え方を示したものです。

また、そのキャッチフレーズを「夢と希望を現実に みんなで創る 誇れる小山」としています。



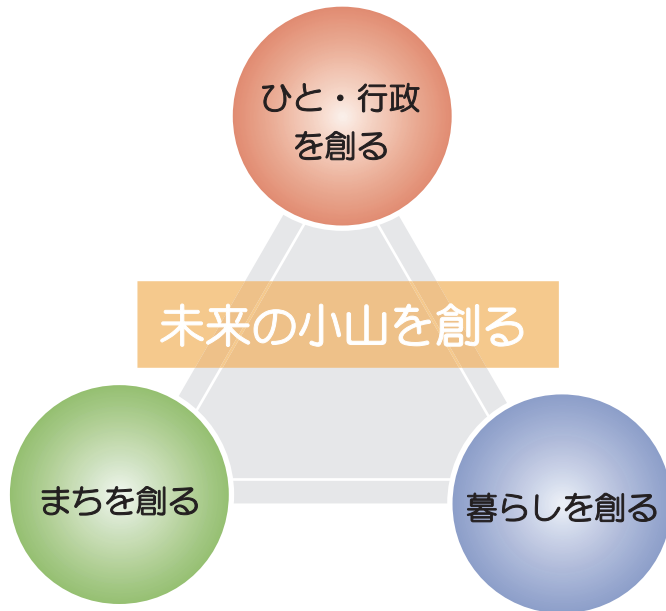
#### 【キャッチフレーズ】

夢と希望を現実に みんなで創る 誇れる小山



● 第2次小山市長期ビジョン体系

■ 小山の基本姿勢



みんなで  
未来の小山の「ひと・行政」「まち」「暮らし」を創る

水と緑と大地の豊かな自然環境と  
安全・安心に暮らせるまちを礎に

誇れる歴史・伝統文化と地域資源を次世代に継承し  
優位な立地利便性を活かし  
連携・交流で北関東の拠点都市の役割を担う

一人ひとりが輝き、健康でいきいきと暮らせるよう  
ともに協力し支え合い  
創造的なまちづくりで  
小山の可能性を最大限に発揮する

【キャッチフレーズ】

夢と希望を現実に  
みんなで創る 誇れる小山

■ 3つの基本理念

- 1** ひと・行政を創る
- 市民参加の行政づくり
  - 新しい時代の行政づくり
  - 男女が協力・子育て支援・ひとづくり
  - 心を育てるひとづくり

- 2** まちを創る
- 夢がかなうまちづくり
  - 元気が出るまちづくり
  - めぐみをはぐくむまちづくり
  - 自然とふれあうまちづくり

- 3** 暮らしを創る
- 地球にやさしいくらしづくり
  - 家庭・地域が強い「絆」で結ばれた安全・安心で健康なくらしづくり

■ 7つの基本目標

1

市民参加と  
行政改革で  
拠点都市実現

- ① 市民・企業・行政のパートナーシップのまち 【協働システム・高度情報化】
- ② 先を見据えた視点で小山を支え伸びゆくまち 【新しい行政マネジメント】
- ③ 自立性が高く連携・交流拠点となるまち 【都市連携・国際交流】

2

次世代を育み  
みんながまちの  
魅力実感

- ① 子育てがしやすい、次世代につなぐまち 【子育て・次世代育成】
- ② 豊かな生活や暮らしを実現できるまち 【多様なライフスタイル】
- ③ 小山の様々な資源・拠点を活かし体感できるまち 【地域資源活用】

3

一人ひとりが輝く  
教育・文化・  
スポーツの推進

- ① 個性や能力を尊重・発揮できるまち 【人権尊重・男女共同参画】
- ② 生涯にわたる心身の向上・夢を実現できるまち 【生涯学習・スポーツ立市】
- ③ 豊かな心と市民文化を創り育てるまち 【教育・市民文化】

4

便利な生活基盤と  
まちの活力化

- ① 利便性が高く、快適な暮らしを築けるまち 【生活基盤・交通】
- ② 時代をリードする技術・ものづくりのまち 【工業・産学官】
- ③ にぎわいと交流・活力あるまち 【商業・観光】

5

小山の宝  
自然・歴史・伝統の  
活用

- ① 渡良瀬遊水地・思川など自然豊かなまち 【自然環境保全・活用】
- ② 本場結城紬など誇れる歴史・伝統文化を継承するまち 【歴史・伝統文化】
- ③ 大地の豊かな恵みと個性・魅力を創り育むまち 【農業・ブランド発信】

6

ひとや環境に  
やさしい都市創り

- ① 環境を大切にする低炭素・循環型社会のまち 【持続可能・エコロジカルシティ】
- ② 都市と田園がバランスよく調和するまち 【コンパクトシティ・都市経営効率】
- ③ 人にやさしい、うるおいのある美しいまち 【ユニバーサルデザイン・景観】

7

安全・安心で  
健康な生活と  
コミュニティの活性化

- ① 災害時に安全で、市民が安心して暮らせるまち 【防災減災・防犯】
- ② 一人ひとりがいつまでも健康に暮らせるまち 【健康・福祉】
- ③ ふれあい、支え合うコミュニティ豊かなまち 【住民自治・ボランティア】

■ 21の未来のすがた



## 3-2 7つの基本目標と21の未来のすがた

「3つの基本理念」のもと、これからの小山の方向性を示す「7つの基本目標」を定め、そのめざすべき目標像を「21の未来のすがた」としています。

### 基本目標-1 市民参加と行政改革で拠点都市実現

市民参加・参画の機会が充実した、市民・企業・行政の協働によるまち。双方向の情報ネットワーク環境により、人材・情報交流が盛んなまち。行財政改革による効率的で効果的な行政運営、将来を見据えた的確な新しい行政づくりを推進するまち。北関東の拠点都市として、広域連携の要となる自立性の高い、国際交流が活発なグローバルなまち。

す  
未  
来  
の  
す  
が  
た

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1-① 市民・企業・行政のパートナーシップのまち | 【協働システム・高度情報化】 |
| 1-② 先を見据えた視点で小山を支え伸びゆくまち | 【新しい行政マネジメント】  |
| 1-③ 自立性が高く連携・交流拠点となるまち   | 【都市連携・国際交流】    |

### 基本目標-2 次世代を育み みんながまちの魅力実感

子どもを生き育てやすい環境が整った、みんなで次世代を見守り育てるまち、子どもが豊かに育つことができるまち。都市や田園で多様なライフスタイルに合わせて、若い世代からシニア世代まで、豊かな生活を実現できるまち。小山の様々な資源や拠点、機能、人材を活かすことで、市民がまちに親しみ、魅力や一体感を共有できるまち。

す  
未  
来  
の  
す  
が  
た

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| 2-① 子育てがしやすい、次世代につなぐまち     | 【子育て・次世代育成】  |
| 2-② 豊かな生活や暮らしを実現できるまち      | 【多様なライフスタイル】 |
| 2-③ 小山の様々な資源・拠点を活かし体感できるまち | 【地域資源活用】     |

### 基本目標-3 一人ひとりが輝く 教育・文化・スポーツの推進

一人ひとりの人権や個性を尊重し、互いに認め合い、責任を分かち合いながら、個々の能力を発揮できる男女共同参画のまち。誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習機会の創出、夢や希望を実現できるスポーツのまち。豊かな人間性と健やかな心と体、生きる力を育む教育環境が充実し、様々な文化に親しむことができる市民文化が活発なまち。

す  
未  
来  
の  
す  
が  
た

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 3-① 個性や能力を尊重・発揮できるまち      | 【人権尊重・男女共同参画】 |
| 3-② 生涯にわたる心身の向上・夢を実現できるまち | 【生涯学習・スポーツ立市】 |
| 3-③ 豊かな心と市民文化を創り育てるまち     | 【教育・市民文化】     |

## 基本目標－4

## 便利な生活基盤とまちの活性化

鉄道や道路、公園等の生活基盤が整った利便性が高く、快適に暮らせる住みたいまち・住み続けたいまち。立地利便性を活かした産業基盤の整備と企業立地、産学官ネットワークの推進により、新たな産業や雇用を創出する技術・ものづくりのまち。小山に人が集まり、回遊できるにぎわいのある商業環境や地域資源を活かした観光など魅力と活力あるまち。

す  
未  
が  
来  
た  
の

- |     |                     |           |
|-----|---------------------|-----------|
| 4-① | 利便性が高く、快適な暮らしを築けるまち | 【生活基盤・交通】 |
| 4-② | 時代をリードする技術・ものづくりのまち | 【工業・産学官】  |
| 4-③ | にぎわいと交流・活力あるまち      | 【商業・観光】   |

## 基本目標－5

## 小山の宝 自然・歴史・伝統の活用

渡良瀬遊水地や思川などの河川、平地林、農地・田園集落の豊かな水と緑と大地を上手に保全・活用して次世代に引き継ぐまち。本場結城紬や小山評定など、多くの誇れる歴史・文化を保全・継承して活用するまち。都市と農村の交流が活発で、大地の恵みの豊かな農畜産物や誇れる小山ブランドを個性と魅力として発信するまち。

す  
未  
が  
来  
た  
の

- |     |                          |             |
|-----|--------------------------|-------------|
| 5-① | 渡良瀬遊水地・思川など自然豊かなまち       | 【自然環境保全・活用】 |
| 5-② | 本場結城紬など誇れる歴史・伝統文化を継承するまち | 【歴史・伝統文化】   |
| 5-③ | 大地の豊かな恵みと個性・魅力を創り育むまち    | 【農業・ブランド発信】 |

## 基本目標－6

## ひとや環境にやさしい都市創り

限りある資源やエネルギーを大切に、市民・企業・行政が一体となった環境にやさしい低炭素・循環型社会を実現するまち。都市と田園が調和した集約型の都市構造の形成により、持続的発展が可能なまち。ユニバーサルデザインのまちづくりで、人にやさしく、地域特性に応じた魅力的で美しい景観を大切にするまち。

す  
未  
が  
来  
た  
の

- |     |                      |                   |
|-----|----------------------|-------------------|
| 6-① | 環境を大切にする低炭素・循環型社会のまち | 【持続可能・エコロジカルシティ】  |
| 6-② | 都市と田園がバランスよく調和するまち   | 【コンパクトシティ・都市経営効率】 |
| 6-③ | 人にやさしい、うるおいのある美しいまち  | 【ユニバーサルデザイン・景観】   |

## 基本目標－7

## 安全・安心で健康な生活とコミュニティの活性化

防災・減災のまちづくりで災害に強く、地域防犯体制で犯罪のない、みんなが安全で安心して暮らすことができるまち。健康・医療・福祉・介護環境が充実した、高齢者や障がい者がいつまでも健康・元気にいきいきと暮らすまち。地域のつながりを大切にしたコミュニティ活動やボランティア活動が活発なまち。

す  
未  
が  
来  
た  
の

- |     |                       |               |
|-----|-----------------------|---------------|
| 7-① | 災害時に安全で、市民が安心して暮らせるまち | 【防災減災・防犯】     |
| 7-② | 一人ひとりがいつまでも健康に暮らせるまち  | 【健康・福祉】       |
| 7-③ | ふれあい、支え合うコミュニティ豊かなまち  | 【住民自治・ボランティア】 |

ここでは、長期ビジョンの「7つの基本目標」に基づき、「21の未来のすがた」の考え方を整理するとともに、各々21の「未来のすがた」を、2030年の将来をイメージした『未来スケッチ』として、物語風に表現したものです。

この『未来スケッチ』は、小山に住むある家族を想定して、その暮らしを通して見られる「小山の基本姿勢」や「理念」により実現された、「未来のすがた」のある一場面を描いています。

※ なお、この未来スケッチは、2030年を想定したイメージを描いたものであり、文章内の固有名詞や名称等は架空のものです。

私は、小山家の長女の未来です。

2020年の「未来のすがた」を描いた「第1次小山市長期ビジョン」が策定されてから10年が経ちました。

その間、私たち家族も歳を重ね、11歳だった私も21歳になりました。小山のまちの姿や暮らしも変わってきたみたい。

それでは、私たちの家族のほか、この未来スケッチに登場する人達をご紹介します。



### 主な登場人物の紹介



#### 小山 稲（いね）【ひいおばあちゃん 102歳】

「小山の語り部」認定者として、小山の歴史・伝統文化を市民や子ども、観光客に伝えています。100歳を過ぎても現役で活躍しています。



#### 小山 豊（ゆたか）【おじいちゃん 78歳】

健康づくりや畑仕事などシニアライフを楽しんでいます。これからの老後生活・介護について興味があります。



#### 小山 緑（みどり）【おばあちゃん 75歳】

ボランティアグループに主体的に取り組んでいる、とても元気で活動的なおばあちゃんです。



#### 小山 真（まこと）【お父さん 50歳】

野菜と花卉を栽培する農家を営んでいます。環境にやさしい農業に取り組み、「おやまブランド」として人気です。



#### 小山 桜（さくら）【お母さん 45歳】

駅前商店街に開いた花屋は順調で、フラワーアレンジメントも始めました。お客さんに、小山の観光スポットを紹介しています。



**小山 未来 (みらい) 【(長女) 21歳】**

市内の企業への就職活動中の大学3年生です。小山に住み続けながら、小山の魅力をより多くの人に感じてもらいたいと思っています。

**小山 拓 (たく) 【弟(長男) 19歳】**

世界に通用するものづくりの技術者になるのが夢です。専門技術を勉強して、小山のまちづくりにも貢献したいと思っています。

**小山 輝 (きりり) 【妹(二女) 16歳】**

市内の高校に通いながら、お母さんの花屋の手伝いをしています。お客さんと話すのが大好きな女の子です。

**小山 伸一 (しんいち) 【伯父さん 55歳】**

小山に移り住んから、知人も増えて、住み慣れてきました。研究者として、産学官のまちづくりに取り組んでいます。

**小山 鈴音 (すずね) 【伯母さん 55歳】**

3人の子どもの子育ても一段落。音楽家として市民文化活動に参加したり、小山のまちを徒歩や自転車で見て回るのが趣味です。

**恵美 (めぐみ) さん【知り合いのお姉さん 30歳】**

大地さんと結婚して、出産、育児をしながら働いています。小山の魅力を外国人にも知ってもらおう手伝いをしたいと思っています。

**大地 (だいち) さん【知り合いのお兄さん 27歳】**

恵美さんと結婚して、一緒に子育てを楽しんでいます。自分たちでNPO団体を設立して仕事をしています。

**創 (つくる) さん【恵美さんと大地さんの長男 3歳】**

すくすくと元気に保育所に通っています。保育園のお友達や、おじいちゃんやおばあちゃん達とすぐに仲良しになるのが得意です。

**望 (のぞみ) さん****【拓くんが教えているスポーツクラブの子ども 10歳】**

市内の小中一貫校に通っています。水泳選手育成プログラムの代表を目指して練習に励んでいます。



2030年の春、小山家の家族みんなで夕食をいただいた後、しばし居間で談笑しました。



【未来】 就職活動するのに、自分が住んでいる小山市のことを調べているんだ。みんなの意見を聞かせてくれないかな。15年くらい前に比べてどんなところがよくなったと思う？

【豊】



おじいちゃんは、本当に良くなったと思うよ。「ひと・行政を創る」「まちを創る」「暮らしを創る」の3つを基本理念に、未来を見据えて取り組んできた成果だろうね。  
市政への市民参加も当たり前。若い世代も積極的に提案を出し合う、「市民参加・参画による協働のまちが実現」して、地区まちづくり活動も活発だよ。また、市民目線の市役所づくりで「行政サービス満足度が大きく向上」したね。民間活力の活用やエキスパート職員の育成など、先進的に「行政改革・財政健全化」が進んだね。  
そして、今、小山市は、拠点機能を活かした都市連携によって「50万県南中核都市として発展」している。あと、外国語教育や国際友好都市との連携も活発に進んで、「国際交流・グローバル都市として機能発揮」しているのがすごいな。

【桜】



お母さんはね、私が子育てしていた時よりも、保育施設やサービスなどが充実して、「子どもを安心して生み育てられるまち」になったわね。男女が協力して子育てができるよう、子育て支援を地域で取り組んできたから、女性が子育てしながら働いたり、社会に参加しやすい環境が整って力強いわね。  
それから、みんな都市や田園で多様なライフスタイルに合わせて暮らしているわね。だから、「市民が住みやすさ・豊かさを実感できるまち」として人気があるのね。  
そうそう、小山市内にはたくさん見所があるから、見て回るだけでも楽しいわね。「地域資源と拠点に親しみ、一体感を市民が共有」できているわ。

【拓】



僕は、人権尊重や男女共同参画について学んできたけど、本当に「市民一人ひとりの個性尊重と男女共同参画が定着」してると思うよ。それに、自分の夢や希望に向かって、いつでも学べる「生涯学習環境の充実で生きがいある市民生活が実現」したってね。  
そうそう、市民1スポーツの取り組みや市立体育館もできて、スポーツイベントが活発。全国レベルの選手もたくさんいて、「スポーツ立市のまちとして全国的に有名」なものも自慢だね。  
あと、小中一貫校や私立高校、大学等があって、キッズユニバーシティなど、「青少年を育む特色ある教育環境が充実」しているし、様々な「文化・芸術に市民が親しむ都市」としていろいろな施設やイベントが充実しているのもすごいよね。

【緑】



おばあちゃんは、高規格化された新4号国道で、北関東道や圏央道にスムーズに行けるし、市内のコミュニティバスや新交通システムとともに「アクセス便利な交通ネットワークが実現」したのに感心しているわ。  
それに、新都心の粟宮地区をはじめ、羽川・喜沢東部、思川周辺地区など「新たな市街地整備が実現」したし、公園等の「生活基盤の充実」も評判で、小山に住む人が着実に増えたわね。  
あとね、働く場としての新規工業団地の造成や企業誘致、地元中小企業への支援で、「工業基盤が整い産業が活性化し新たな雇用を創出」した成果が素晴らしいわ。  
小山駅周辺は再開発事業が進み、街なか居住や観光客も随分増え、「中心市街地が活性化し交流人口が増大」して、活気あるまちとして発展しているって感じるわ。

【 稲 】



長く生きてきた私が思うに、小山の自然・歴史・伝統は、やっぱりすごい宝だね。ラムサール条約湿地登録で「世界的ブランドとなった渡良瀬遊水地が保全・活用」されて、今では、コウノトリ・トキが舞い、保全・再生された湿地は、エコミュージアム化され、教育の場としても活用されている。ラムサールふゆみずたんぼ米が人気で、ホンモロコも健康にいいって大評判らしいね。

それに、思川の清流や田園環境も大切だね。子どもの国やサイクリングロードが整備されて、「思川や田園など豊かな“水と緑と大地”にふれあえる場」として魅力だわ。

何より、ユネスコ無形文化遺産登録された本場結城紬は、匠の技術が若い世代に伝承されて、様々な機会に利用が拡大したから、「本場結城紬が復活し地場産業が活用されたまちとして全国的に有名」ね。あと、小山評定など、誇れる「歴史・伝統文化を市民が共有し“開運のまち”が全国的に認知」されたのは本当にうれしいわ。

それから、農業6次産業化や地産地消など「新しい農業基盤・経営が確立」したから、農業に活気があり、農村居住も進んでいるし、おやまブランドも全国展開しているわね。みんな次の世代につないでいかないといけないと思うわ。

【 輝 】



私はね、ゴミの減量やリサイクルはもちろん、太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用を強かに推進してきた結果、環境都市おやまとして「持続可能な環境保全型社会が実現」しているのがすごいと思う。

そして、市街地と田園集落がバランスよく共存しているから、「都市経営効率が高いコンパクトシティ化が実現」しているのも先進的ね。

何たって、思川桜が市内中を彩り、思川の桜並木は絶景。それに、田園や平地林が保全された集落景観はきれいで、美しい街並みづくりも広がっているわ。公共施設などでは、誰もが使いやすいユニバーサルデザインが導入されたことで、「美しい景観と人にやさしいまちが実現」しているのが自慢だわ。

【 真 】



お父さんは、市民の防災意識が高く、自主防災・防犯体制を整えるなど、「防災・減災の取り組みで災害に強い都市」になっていて、小山に安心して住めるな。

それに、通学路の整備や高齢者の見守り活動など、家庭・学校・地域が強い絆で結ばれて「安全・安心なまちづくりに地域で取り組む体制が機能」しているな。

安心といえば、新市民病院は地域医療の核となって、周りに健康・医療・福祉・介護拠点が集まるホスピタルシティとして大いに機能しているよ。市民も健康づくりに積極的に取り組んでいるから、健康都市おやまとして「子どもから高齢者までみんなが健康・元気なまちが実現」しているな。

そして、市民1ボランティアが定着して、自治会や各種ボランティア・NPO活動がとても活発だね。さらに、各地区のコミュニティ施設が整備されて、「ふれあい・支え合いのコミュニティが充実」した、安心して住み続けられるまちになったと思うよ。

【 未来 】



すご〜い！みんなありがとう。夢と希望あふれる小山市を、みんなで創ってきた成果がすごくたくさんあるんだね。私も、小山市民の誇りをもって立派な社会人になれるよう頑張ります。